

私ども訪問看護ステーションナースケア岩沼は、2022年10月1日に開設致しまして、ちょうど1年程が経過いたします。それにあたり社内において訪問看護とはどういうものなのかディスカッションをし再確認ができればと思います。メンバーは運営責任者の浅野隆一そして管理者の佐藤はなだと質疑進行は言語聴覚士の高橋宏明になります。

高橋 → 佐藤はなだ（管理者）

はなださんは訪問看護の経験が長く管理者としてのキャリアも長いかと思います。あらためて訪問看護とはどういうものでしょうか？



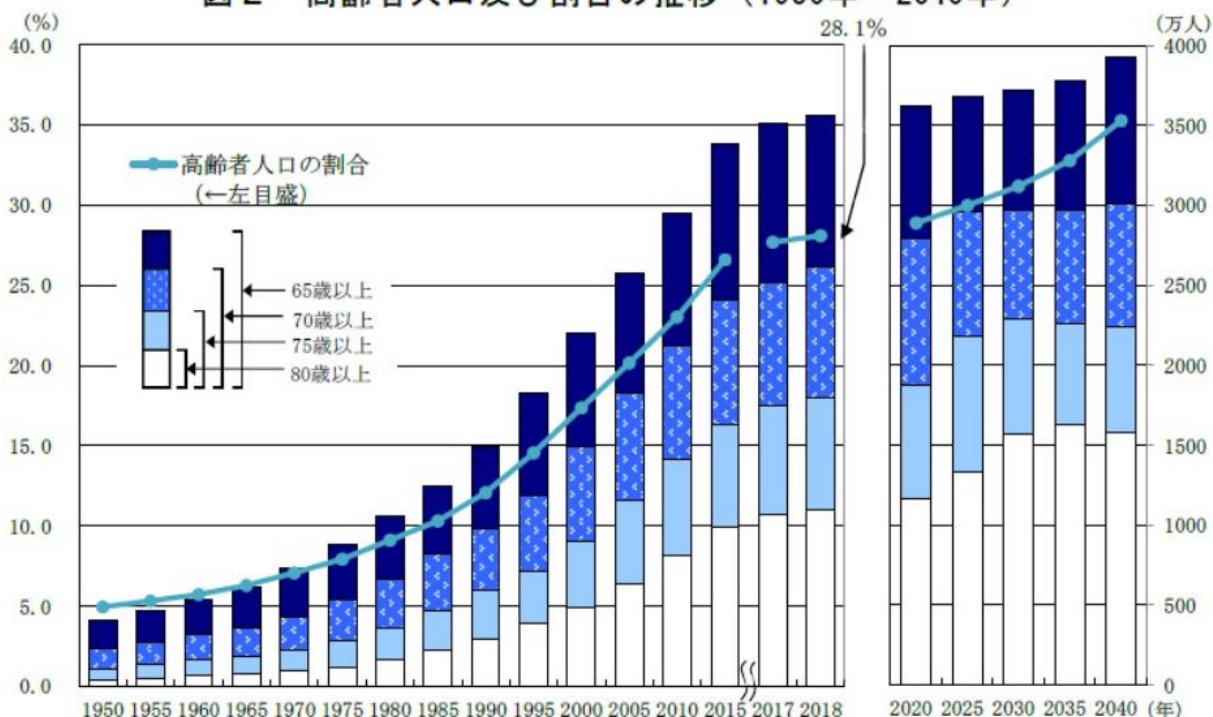
管理者 佐藤 はなだ

佐藤はなだ：訪問看護について語る前にいまの社会状況についてお話いたします。

「2025年問題」というものがございます。

超高齢化社会を迎えるにあたり、社会保障費の急増などが見込まれる社会問題です。2025年には75歳以上の後期高齢者は人口全体の20%を超えると予想されています。そして、高齢者の増加により、医療・介護のニーズが高まります。

図2 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



総務省統計局 高齢者人口の推移グラフ

2025年問題への対策として地域において皆で支え合う仕組みを考えなくてはならないとして、「地域包括ケアシステム」の構築が進められてきました。

地域包括ケアシステムとは、

「高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域、ご自宅で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる仕組み」のことです。

この地域包括ケアシステムの重要な要素として訪問看護があります。

それでは改めて訪問看護がどういうものかというところですが、

訪問看護は看護師などが、自宅に訪問して療養生活を送っている方の看護を行うサービスです。

本人や家族の思いに沿った在宅生活の実現に向けて、専門性を発揮し、健康の維持・回復など、QOL向上を図り、予防から看取りまで支える仕事になります。



左 高橋                      中央 佐藤                      右 浅野

また、「訪問看護の必要性」についてですが、病院での看護との違いを踏まえ、さらに訪問看護について詳しく説明します。

病院で治療を受ける患者様と、訪問看護を受ける利用者様とは、求めるものが違うと思います。訪問看護を希望する利用者様が求めているのは、治療優先の医療ではなく、安心して自分らしく暮らせることだと思います。

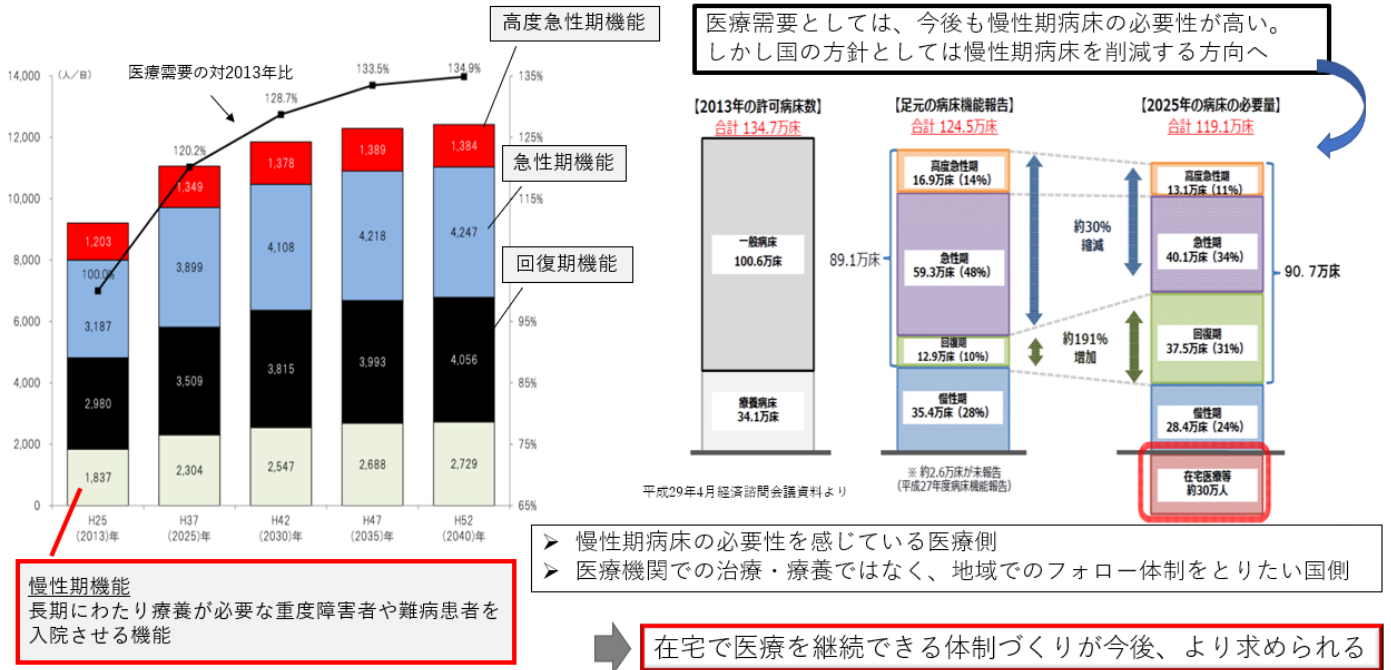
そのため訪問看護では、利用者様の病状だけでなく、それぞれの生き方や生活を取り巻く環境、利用者様とご家族の気持ちを考えながら、ご自宅で安心して暮らせる方法を提案し、サポートします。

私たちナースケア岩沼は、特に在宅ホスピス・ナーシングホスピスにとりくみ、ご本人・ご家族が安心できるように夜間や土日祝の対応も行なっております。

私自身の経験としてがん末期の方、ALS など神経難病の方も訪問医と連携を取りながら、ご自宅にてお見送りを行ってまいりました利用者様の痛みをできる限り抑えて、

ご自宅や高齢者向け住宅で安心して自分らしく生活できるような環境づくりをサポートさせていただき、利用者様とご家族の気持ちに寄り添ったケアのできる訪問看護を目指しています。

## 今後の地域における医療提供体制



高橋→浅野 それでは最後に運営責任者の浅野に「まとめ」てもらえればと思います。

訪問看護は、今後の社会にとってより必要なサービスになると思います。利用者様やご家族により深く関わることができ、時には温かい言葉をいただけます。

やりがいのある仕事です。

高齢者をはじめとする皆様が、住み慣れた地域で安心して暮らせるために最善の看護を提供できるよう、常に自己研鑽に努め看護技術の質の向上を目指していければと思います。

そして、地域の皆様に信頼される訪問看護ステーションを運営していく事ができればと思います。訪問看護に興味のある方はぜひ、見学に来てみてください。



ステーション運営責任者 浅野隆一



ナースケア東北

質疑進行 言語聴覚士 高橋宏明